



特集

K U R E
GTEAM
ikai

2026.8

vol.38

給食時間は、笑いが止まらない



いつでも どこでも クレシギカイ

※ 呉市議会だより

特 集 給食時間は、笑いが止まらない



本号では、学校給食に関する本市の取り組みについて、**久保委員**と**沖田委員**が取材しました。

呉

市の人口は、令和7年3月末時点で、20万人を下回り、市は同年4月に呉市人口戦略対策本部を設置しました。また、令和8年3月には、呉市人口戦略プランを策定し、人口減少を緩やかなものにするため、3つの柱で効果的な施策を全庁的に行い、人を引きつけるまちを目指します。

令和8年度予算では、この3つの柱の1つである、**子育て世代が安心して子どもを産み育てることができ、環境の整備**に関連して、小学校給食の実質無償化（1年間）や、中学校給食食材費高騰対策（1年間）、保育所副食費および中学校給食（高騰対策以外分）の3カ月間無料化を行い、子育て世代の経済的負担を軽減します。

本号では、学校給食について、教育委員会学校施設課長や現場の声を聞きました。



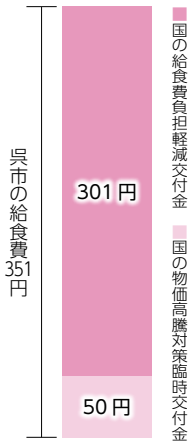
小学校給食

Question 1

広報委員 小学校給食の実質無償化
(1年間) に至った経緯を伺います。

学校施設課長 国は、令和8年度から給食費無償化に要する経費を予算化しました。児童1人に対し、給食費基準額月額5,200円が交付されます。

呉市の場合、1食あたりの給食費が351円のため、国が負担する301円に不足分の50円を物価高騰対策臨時交付金から充当することで、実質無償化としました。



Question 2

広報委員 給食提供で心がけていることは何ですか。



山田小学校
校長 浅木森宏

浅木森校長・山根栄養教諭 安全安心を大事にしています。それは、衛生管理や児童へのアレルギー対応、そして、児童や保護者から信頼される給食を提供することです。



山根直美 栄養教諭

また、学校給食は、地域の食文化や食に関わる人々たちへの感謝などを学べる「**生きた教材**」です。子どもたちが給食を通じて、食を支える人々たちへの感謝や地域を愛することにつながると考え、「**人とつながる給食**」を大切にしています。



給食を配膳 (6年生が1年生分を配膳)



安全安心な給食提供のため温度計測をしています



荘山田小学校で作られた給食は、片山中学校へ配送されます。配送された給食は、各クラスの生徒がクラス全員の配膳を行い、楽しい給食時間のスタートです。



牛乳

アジフライ

キャベツの蒸し煮

ご飯

みそ汁

Question 3

広報委員 令和5年度から開始した食缶制給食とは何ですか。

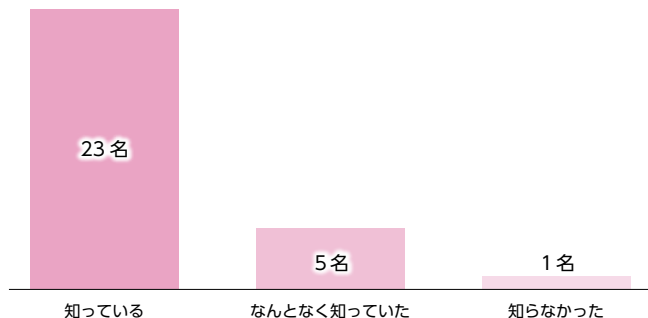
学校施設課長 食缶制給食とは、おかずや汁物などを保温性の高い食缶に入れて運ぶ方式です。既存の給食施設を活用し、近隣の小学校や民間調理場で調理した温かい給食を中学校へ運搬して配食する食缶制給食を開始しました。令和5年度に2校、令和6年度に7校、そして、令和7年度には、**すべての中学校で温かい給食を提供しています。**

令和5年度までは、旧市内の中学校（警固屋・宮原を除く）では、民間事業者から配送するラッシュボックス方式のデリバリー給食でした。しかし、**デリバリー給食は衛生上、冷蔵が必要で、提供する給食が冷たいと生徒から不評でした。**食缶制給食を導入したことで、生徒からは、「温かい物が食べられる」などの意見や保護者からは、「お弁当を作らなくてよくなった」などの肯定的な意見が多く、保護者の負担軽減にも寄与しています。

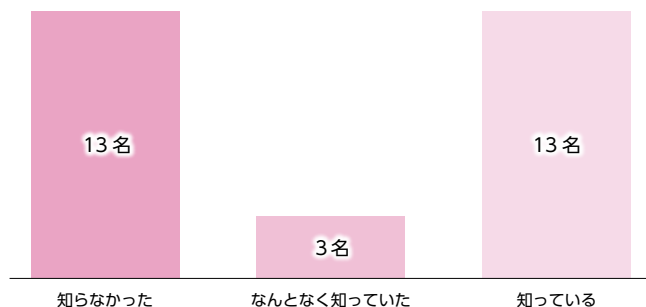
学校給食に関するアンケートを実施しました

小・中学校および義務教育学校の 59 名の P T A 会長にご協力いただき、学校給食に関するアンケート調査を行いました。

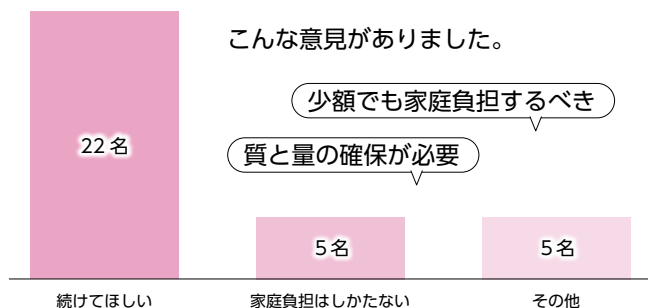
無償化になっていることは知っていましたか。



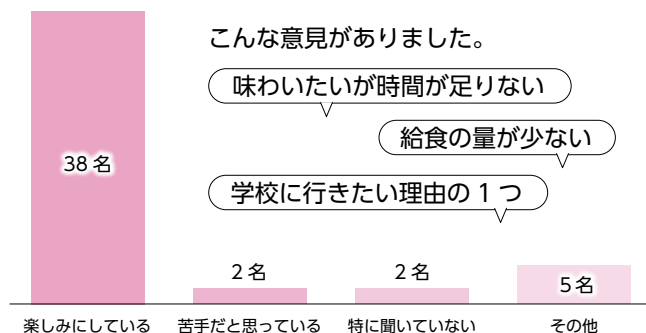
令和 9 年度以降の無償化については未定です。
このことは知っていましたか。



無償化を続けるべきだと思いますか。



お子様は給食についてどう感じていますか。



学校給食に関する問い合わせ：学校施設課給食グループ 25-3449

取材を終えて

表紙に写る笑顔が語るように、学校給食法の願いを胸に、子どもたちの平和な毎日を守り育てることが私たち大人の責務であると強く感じた取材でした。



くほ 久保委員



おきた 沖田委員

ワクワクしながら給食を待ち、満足感に満ちた児童たちの笑顔に出会えました。

工夫された献立ですが、もう少し量が多くてもよいのではと感じました。



～議会はココが気になった～
(令和 8 年 2 月 27 日 本会議より)

Q 小学校給食費の実質無償化は 1 年間とされ、財源も国の重点支援地方交付金を活用するとされています。この 1 年間の期間設定は、物価高騰対策の一時的な措置なのか、それとも国費活用を呼び水として、将来的な市単独での恒久化を見据えた布石なのでしょうか。位置づけを伺います。

A 重点支援地方交付金は恒久財源ではなく、令和 9 年度以降は不透明な状況となっております。

今後の対応として、引き続き国の動向を注視し、国に対し、市長会などを通じて国から交付される月額 5,200 円の基準額の引上げや中学校給食費の無償化も含めた制度の拡充を強く要望していきます。

議長・副議長 就任のごあいさつ



市民の皆様におかれましては、日頃より呉市議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第 69 代議長に林田浩秋が就任し、第 85 代副議長に小田晃士朗が就任いたしました。

さて、呉市は人口減少が進み、令和 7 年 3 月末で 20 万人を下回るという深刻な局面を迎えておりますが、私たちは今こそ「変革の時」と捉えています。

現在、本市では「呉駅周辺再開発」によるぎわいの創出、「日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区跡地に係る防衛省による多機能な複合防衛拠点整備」による産業基盤の強化、そして「スポーツ施設などの再配置」による市民の健康・交流拠点の充実など、未来に向けた挑戦が動き出しています。

市議会といたしましては、これら重要施策にスピード感を持って取り組み、市民の皆様が住み続けたいと実感できるまちづくりに全力を尽くしてまいります。皆様とともに、活力ある呉市の再生に向け、誠心誠意取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

6月定例会 議案審議



議案の詳細はこちら！

～ 議決した議案 ～

会 期 6月15日～6月26日

■ 市長提出案件 14 件 ■ 人事 20 件 ■ 請願 1 件 ■ 決議 1 件 ■ 意見書 2 件 ■ 選挙 2 件 ■ 市長報告 5 件

pick Up!

1

〈議第 57 号〉契約の締結について

音戸学校給食共同調理場の建設工事を行います

現在の音戸学校給食共同調理場（音戸町波多見）は、昭和 60 年に建築し、施設や主要設備であるボイラーや蒸気配管・給水管の老朽化に伴い、令和 3 年 3 月策定の「呉市公共施設に関する個別施設計画」において、当該調理場の建て替えをすることとしています。

このたび、令和 9 年 8 月末の完成を目指し、旧奥内小学校グラウンド（音戸町畑）の一部に新たな調理場を建設するため、工事請負契約の締結について議決しました。

Q 調理場の建設にあたり、現場の声がどのように反映されていますか。

A 令和 4 年に実施した「給食施設の在り方検討」においては、学校現場からの意見を伺いました。また、今後の給食施設の整備については、検討委員会を設置する予定です。

そのメンバーには、PTA や校長先生・栄養教諭などにも委員となっただき、現場の声を聞きながら、整備・検討を進めていきたいと考えています。

（令和 8 年 6 月 23 日 文教企業委員会より）



▲老朽化が進む音戸学校給食共同調理場

pick Up!

2

〈議第 60 号〉財産の取得について

産業用地を取得し、地域経済の活性化を図ります

産業用地売却事業により、新たな産業用地として、苗代町八幡野 10039 番 3 の山林（現在、近隣企業の駐車場として利用）を呉市土地開発公社*から随意契約で購入します。

※昭和 49 年 4 月に公有地の拡大の推進に関する法律に基づき、公共用地や公用地などの取得、管理および処分などを行い、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与することを目的として設立された法人です。

Q 現時点で周辺住民から工場建設について、何か声を聞いていますか。

A 騒音や異臭など、市民に迷惑をかけないように、環境悪化の恐れのない準工業地域に沿うような工場にしてほしいとの要望がありましたので、近隣の苗代工業団地と同様の方法で売却を進めたいと考えます。

（令和 8 年 6 月 24 日 産業建設委員会より）



▲工場の誘致で呉市の地域活性化を目指す

pick Up!

3

〈議第 63 号〉物品の取得について

複合建物の子育て支援施設に屋内遊具などを設置します

呉駅周辺地域総合開発の複合建物に整備している子育て支援施設に設置する屋内遊具と木製書架など一式の取得について議決しました。施設には、大型複合遊具やボルダリング、バランス遊具、プレイハウスなどを整備するほか、車椅子のまま利用できるスペースや、感覚が過敏な子どもが安心して過ごせるクールダウンスペースも設けます。年齢や障害の有無にかかわらず、多様な子どもたちが一緒に楽しめるインクルーシブな遊び場として、安全性にも配慮した環境を整備します。

Q 屋内遊具などはどのように選定しましたか。

A 呉こども祭の開催にあわせて、子どもたちから遊具に関するアンケート調査を行い、希望の多かった遊具を選定し、くれくれ・ぱ利用の保護者や子育て中の市職員、保育士などの意見も取り入れています。

（令和 8 年 6 月 25 日 総合交通対策特別委員会より）



▲子育て世代が利用したいと思える遊び場に

“若い世代への支援の空白”

誠志会

よこち 横地 祐子 議員



Q 制度の隙間にある声を市政へ

本市には、ライフステージごとにさまざまな施策があります。一方で、就職後から結婚・出産・子育て、いわばライフステージの移行期にある若い世代は、悩みが複雑に重なる時期に、必要な情報や相談先、制度にたどり着きにくい状況となっています。

現状や課題をどのように認識し、既存の施策の狭間に生じる「支援の空白」を埋めるため、今後どのように取り組んでいきますか。

A

16歳から30歳までの市民2,000人を対象とした、子ども・若者の意識と生活に関するアンケート調査では、悩みや心配事があるかの質問に対し、約60%が進路を含む将来のことと答え、20年後に自分が幸せだと思うかの質問には、約20%が幸せに思わないと回答しています。

これらのことから、家族や友人に何でも相談することができる環境の必要性は認識しています。

また、家族や知り合い以外に相談するならばとの質問に対して、SNSやメールなどを利用し、相談したいという声が多くありました。

これらを踏まえ、今年3月から「もしもし相談LINE」をスタートしました。

施策の狭間に生じる課題を調査し、部局横断的な視点を持って検討を進め、呉市の若者が将来に希望を持ち、自ら選択することができるよう、取り組んでいきます。



呉市の若者が将来に希望を持てる支援を

“安全・安心な地域づくり”

市民フォーラム

みつむね 光宗 ひとし 等 議員



Q 高齢者が安心できる環境整備

本市も高齢化が急速に進んでいます。高齢者単身世帯の現状と今後の推移の認識、そして、高齢者が安心して暮らせる地域づくりについて、市の考えを伺います。

A

昨年12月末時点で単身の高齢者数は約1万3,500人で高齢者全体の18.6%です。今後、85歳以上の割合が増加し、医療や介護の必要性が高まると見込んでいます。

現在、国において、社会福祉法などの一部改正案に、頼れる身寄りがない高齢者などに対する支援として、福祉サービス・保健医療サービス等利用援助事業を法律に位置付けることを審議しています。

こうした動きも注視し、高齢者が安心して暮らし続けられるよう努めていきます。

Q SNSの犯罪から児童生徒を守る

児童生徒がSNSを通じた闇バイトや特殊詐欺などに巻き込まれ、犯罪に加担するなどの事案が増加しています。

教員委員会は、SNS利用に伴う危険性や犯罪から児童生徒を守るため、どのような教育を行っていますか。

A

教育活動全体を通じて行う道徳教育において、学校や社会のルールを主体的に守ること等について指導するとともに、社会科や技術科などの各教科、また、非行防止教室において警察などの外部講師を招へいし、SNSなどを通じた犯罪から児童生徒を守る取り組みを進めています。



教育でSNSの犯罪から児童生徒を守る

“ 刑務所出所者などの受け入れ ”

創友会

いわはらのぼる
岩原 昇 議員



Q 出所者の再出発を支援

呉市は、若者の市外転出が顕著です。昨年、人口減少を防ぎ、働き手を流入させるため、刑務所を出所した元受刑者を受け入れ、市営住宅に居住してもらうことを要望しました。呉市の会計年度任用職員として草刈り、溝掃除、農業の手伝いなどを行うことで、自治会の負担軽減や労働力不足を補い、土木費の歳出を抑え、相乗効果として再犯防止になると思います。

市には、仮釈放者が入園する呉清明園という更生保護施設がありますが、刑期満了後に同園を退園する方の中には、退園後に住む場所がない方がいると伺っています。

市として、更生保護施設との連携や支援の状況を伺います。

A

福祉の窓口において、生活状況や就労の見込み、帰来先の有無などを聞き、状況に応じた切れ目のない支援を行っています。

その上で、住居の確保や生計維持が困難で、生活保護制度による支援が必要な場合は、適切に対処しています。また、住居が必要な方については、更生保護施設や呉市居住支援協議会などの関係機関と連携し、民間の賃貸住宅への入居支援などに取り組んでいます。

今後も更生保護施設や関係機関と連携を密にし、再犯防止と地域社会への円滑な定着に向けて、一人一人の状況に応じた自立支援に取り組んでいきます。



再犯防止で地域社会への定着に向けて

“ 人が集まる魅力的な場所を ”

同志会

かわはらはっかい
河原 初海 議員



Q 大型複合遊具公園の早期実現を

少子高齢化や人口減少が進む本市においては、子育て世代の定住促進や交流人口の拡大が喫緊の課題です。本市の中央公園、広公園、焼山公園には遊具が設置されていますが、かなりの年数が経過しています。

東広島市の道の駅湖畔の里福富や三次市のみよしあそびの王国、さらには尾道市のシトラスパーク瀬戸田などは、わくわくする大型複合遊具が整備され、週末になると多くの家族連れが訪れる強力なコンテンツとなっています。他市のような大型複合遊具へのリニューアルを求める声もあります。

本市における大型複合遊具の整備について、当局のご所見を伺います。

A

魅力的な大型複合遊具は、子育て世代に選ばれるまちづくりのための重要な要素であると認識しています。

呉市では、中央公園、広公園、焼山公園の3カ所に大型遊具を整備しており、設置から約20年が経過したものの、専門業者による点検や老朽化した箇所の補修など予防保全型の維持管理により長寿命化を図っています。安全性を確保した上で、適切な維持管理を行い、これからも大切に活用していきたいと考えています。

将来的にリニューアルの際は、子育て世代に選ばれるような魅力的な大型複合遊具の導入について検討していきます。



大型複合遊具の早期整備を

“ふるさと住民登録制度の導入”

はしぐち あきら
橋口 晶 議員



Q 大和ミュージアムのリピーターなど、市外に住みながら呉市の活性化に関わっておられる方々とのつながりを深める国の新しい制度「ふるさと住民登録制度」を導入する考えはありますか。

A 呉市がふるさとと住民との関わりを深めることは、人口減少対策につながる可能性があります。先進事例も参考に、今後「ふるさと住民登録制度」の導入に向けた検討を加速していきます。



“断水など災害時給水拠点の増設”

ふじもと てつし
藤本 哲智 議員



Q 災害時に給水拠点に設置する給水コンテナを自治会の備品とすれば、住民自らが地域の防災力を高めることに協力していただけたと考えます。その考えはありますか。

A 断水時には、定められた給水拠点の開設を最優先とします。必要な人員や給水ポンプ車に限りがあり、各自治会個別の給水コンテナへの補水は困難です。断水状況に応じて、給水拠点増設などで柔軟に対応します。



“参加したくなる健康づくり”

さだもり けんじろう
定森 健次郎 議員



Q 市民自らが健康づくりや地域活動に参加したくなる仕組みとして、ポイントなどのインセンティブ施策やデジタル技術の活用について、どう取り組んでいきますか。

A インセンティブ施策やデジタル技術の活用など、行動変容につながる具体的な施策は、第4次健康くれ21や呉市高齢者福祉計画などの各個別計画策定の中で、実効性のある取り組みを検討し、推進していきます。



個人質問

6月17日・18日の2日間にわたり、個人質問を行いました

6月17日の動画はこちら



6月18日の動画はこちら



“中東情勢が及ぼす呉市への影響”

公明党呉市議会議員団

かみむら とみお
上村 臣男 議員



Q 市民や事業主への物価高騰対策

中東情勢により、今後、市民や事業者へのさらなる物価高騰対策が必要と思います。本市の現状と具体策を伺います。

A

中東情勢などを受け、原材料やエネルギー価格の高騰により経費が増加し、利益を圧迫していると市内事業者から伺っています。呉市では、令和8年度に事業者への支援として、光熱水費や燃油料などの支援を行うとともに、生活者への支援として、水道基本料金8カ月分の免除などに取り組んでいます。

今後も国、県の施策と一体的に、中東情勢に伴う原油高の影響などへの対策に取り組むことを考えています。



事業者と生活者への物価高騰対策に取り組む

Q 障害者の親亡き後について

呉市は、重層的支援相談事業や障害者の専用窓口を設置しています。しかし、親亡き後の相談をしたいと思ったときに、市のHPに複数の相談窓口が掲載されているため、相談先に迷われると推察します。本市の相談窓口や支援体制について伺います。

A

障害者の親亡き後について、既に障害福祉サービスを利用している方は、相談支援専門員がさまざまな相談に応じています。

サービスを利用されていない方は、暮らしの相談や緊急時の対応などを担う地域生活支援拠点「まるごとネット呉」を市内4カ所に設置し、総合的な相談支援を行い、必要な支援につなげる体制を整備しています。

“県道呉平谷線の安全対策”

ふくなが たかみ
福永 高美 議員



Q 県道呉平谷線では、「車の運転中にタイヤを側溝に落とした」という声も聞きます。市として道路整備について、どのような課題認識を持っているのかを伺います。

A 上二河町から焼山此原町の区間は、直近3年間で脱輪事故が25件発生するなど、交通事故の多い路線と認識しています。引き続き、現道の安全性向上やバイパスの早期整備を県へ要望していきます。



“夜間や若者の悩み相談にAIを”

さえき こういちろう
佐伯 航一郎 議員



Q 若年層へのアプローチや夜間相談ニーズへの対応など、誰もが取り残されない相談体制に向け、AI悩み相談チャットシステムの活用も期待しますが、市のご所見を伺います。

A デジタルと親和性が高い若年や働き盛りの層が、24時間365日相談できる有効なツールと認識しています。AIを活用したシステムは、先行導入している自治体の事例なども参考に検討していきます。



“公益通報制度と法令遵守審査会”

いではた りゅうせい
井手畑 隆政 議員



Q 公益通報制度の運用に際して、呉市における法令遵守の推進に関する条例は、法令遵守審査会の意見を尊重し、必要な措置を講じると規定しています。この審査会の意見を最終的に覆す際の考え方を伺います。

A 公益通報に関する対応方法は、条例に定められているとおり、審査会の意見を重んじた上で、確認された事実も踏まえ、最終的には市長が判断するものです。



“災害時の民間連携”

おだ こうしろう
小田 晃士朗 議員



Q 市場に出回る商品をそのまま有事の備蓄として優先的に供給してもらう流通在庫備蓄を検討しませんか。

A 市が推進する分散備蓄には適しませんが、保管スペースの不足緩和や調達価格の低減に一定の効果が期待できます。今後、先進自治体の取り組みを調査し、利害得失を分析するなど、研究します。あわせて、物資供給に関する災害時協定の締結拡大にも積極的に取り組みます。



“外国人市民の国保料未納対策”

さかい まさおみ
坂井 誠臣 議員



Q 在留資格厳格化の法改正を見据えた、外国人市民における国民健康保険料の未納対策と早期債権回収について、市はどのような対策を行いますか。

A 集中的・組織的な徴収・追跡対策については、他自治体の事例を参考にし、より効果的な手法について研究します。また、差し押さえなどの滞納処分を専門的に行う債権回収対策室と連携を密にし、保険料の収納率向上に努めます。



“在宅で保育に支援の提案”

おかざき げんたろう
岡崎 源太郎 議員



Q 乳幼児期は、人格形成の礎を築く極めて重要な時期です。家庭で保護者と過ごす時間は、子どもの情緒安定や愛着形成に大きな役割を果たします。呉市も家庭で保育する世帯に補助をするやさしい考えはありませんか。

A 現時点で在宅保育家庭への経済的支援制度の導入は予定しておりませんが、引き続き、国の動向や他自治体の取り組み、効果・検証の状況を注視していきます。



“給食室改善と栄養職員配置拡充”

く ば あずま
久保 東 議員



Q 呉市は、給食調理室の建て替えなど中長期的計画を出されています。現場の声が届く具休策について、今後の方向性を伺います。

A 今年度中に学識経験者などで構成する検討委員会を設置し、学校現場の声も反映しながら、学校給食施設整備の方向性を検討します。子どもや保護者に喜ばれる給食提供や給食調理員の働く環境整備に配慮しながら、施設の整備を目指します。



“廃船解体現場の火災について”

おく だ かずお
奥田 和夫 議員



Q 音戸の火災の事業者にどういう指導をされたのか伺います。

A 火災現場に残存する燃え殻などの飛散については、適切な管理により防止する必要がある、当該事業者においても同様の認識を示しています。本市として、原因者である事業者の責任において、飛散防止などのため、シートで覆うとともに、現場に残存する産業廃棄物なども適正な方法で処分するよう指導していきます。



“AI導入への支援について”

おおはた かずひろ
大畠 和浩 議員



Q 中小企業へデジタル化AI導入を推進するには、伴走型支援が必要だと思いますが、市の考えを伺います。

A AI導入を通じたビジネス変革に向け、専門家派遣による伴走型支援を研究していきます。本市として、市独自の支援策も含め、市内中小企業のデジタル化やAI導入の効果を広く波及させ、生産性向上、さらには地域経済の活性化につなげられるよう支援に努めます。



“休山地下活用について”

おき た のりひこ
沖田 範彦 議員



Q 4年前から休山地下の活用を要望してはどうかと提案してきました。日鉄跡地の要望とあわせ、休山地下の活用を検討していくべきと考えますが、市の見解を伺います。

A まずは、防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備が着実に進んでいくことが最も大切であると考えています。現時点において、提案いただいた休山地下の活用について、防衛省に要望する予定はありません。



“オーバードーズの現状と課題”

ひ がき みよし
檜垣 美良 議員



Q 若年層の女性を中心に広がる市販薬の過剰摂取「オーバードーズ」が増加し、その予防には学校教育が重要と考えますが、教育の取り組みを伺います。

A 学校では年1回、学校薬剤師などを講師として薬物乱用防止教室を開催し、オーバードーズの危険性についても周知・啓発を行っています。引き続き、児童生徒が悩みを抱えないよう校内外の相談窓口を積極的に周知していきます。



“聴覚情報処理障害等の支援”

かめ い さとみ
亀井 聡美 議員



Q 聴覚情報処理障害とは、聴力検査は正常でも、会話などが言葉として聞き取れない状態のことです。聴力が正常範囲のため、適切な診断、支援につなげることができない状態です。このような状態で困っている人がいることを広く周知する必要があると思います。市の見解を伺います。

A 市HPの掲載や市職員の適切な対応につながるよう、研修などで基礎的な理解の周知にも取り組みます。



“重層的支援事業の課題と今後”

やまがみ ふみえ
山上 文恵 議員



Q 重層的支援推進室設置から4年が経過し、事業実績や成果と課題を踏まえ、今後の展開を伺います。

A 複雑なケースほど支援者が多岐にわたるなど、情報共有や支援者間の調整が課題です。今後は、地域共生社会の実現に向け包括的な支援体制を整備することを目的に立ち上げた呉市つながりプラットフォームを活用し、孤立・孤独の早期発見と早期支援などに取り組んでいきます。



“年々増加する地域の要望”

いんぎょ ゆたか
院去 裕 議員



Q 地域の担い手不足で、道路の陥没や草木の繁茂など生活に関する相談が年々増加する現状を踏まえ、管理体制をどう考えますか。

A 道路などの補修や除草などの維持作業は、快適な日常生活を送る上で必要です。しかし、施設の老朽化や増加する住民からの要望、土木技術職員不足など課題は山積みしており、包括的民間委託など新たな手法で持続可能な体制の構築を図ります。



議会TOPICS

議会の気になるアレやコレ！最新ニュースをお届け！

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区跡地に係る防衛省による多機能な防衛複合拠点の整備について…Vol.4

資料はこちら /



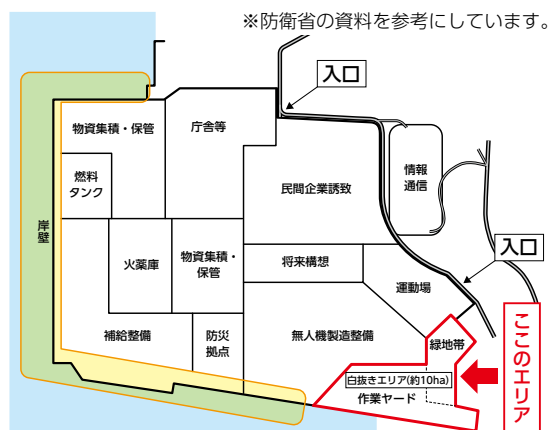
映像はこちら /



5月28日に呉市長と呉市議会議長が防衛省を訪問し、多機能な複合防衛拠点の「民間企業誘致」エリアおよび「運動場」エリアに関する具体的な要望や道路整備への支援に係る要望書を提出しました。

その際、防衛大臣からゾーニングの白抜きエリアについて、現在、有効活用に向け、前向きに検討しており、一体的な土地利用として、取得に向けた検討を進める旨が伝えられました。

6月24日の日鉄呉跡地活性化検討特別委員会において、この白抜きエリア（右図のとおり）の活用方法について報告がありました。



※本資料は現時点でのイメージであり、今後の検討状況により変更となる可能性があります。

呉市監査委員に就任

6月26日に、^{ひがき}檜垣議員が呉市監査委員に就任しました。

市の財務や事業の管理などに関する監査を行います。



パブリックコメントの募集について（9月1日から9月30日）

呉市議会は、少子高齢化などの社会構造の変化によりケアラーへの負担が深刻化する中、全てのケアラーが孤立することなく、自分らしい人生を送ることができる誰一人取り残さない共生社会の実現を目指し、ケアラー支援条例の制定に向けて議論を進めています。

市民の皆様のご意見も参考にさせていただきながら、条例を制定したいと思いますので、ご意見をお寄せください。

詳細はこちら /



総務委員会

さだもり 定森委員長・かわはら 河原副委員長・さかい 阪井委員・おくだ 奥田委員・おおはた 大畠委員・かじやま 梶山委員・きたがわ 北川委員・おかざき 岡崎委員

■ テーマ 国民保護訓練について

■ 調査項目選定のポイント

武力攻撃事態などの有事において、市民の安全を確保するため、初動対応能力の向上や国民保護訓練の在り方について調査しました。

■ 視察先

総務省消防庁・神奈川県・横須賀市

■ 視察報告

総務省消防庁では、国民保護制度の仕組みや国と地方公共団体の役割について、神奈川県では、武力攻撃事態などの発生時に住民を避難させるための国民保護避難施設の指定状況や指定におけるポイントについて、横須賀市では、自衛隊や在日米軍の基地を抱える地域特性に応じたリスク対処や豊富な訓練実績に伴うノウハウなど、国民保護訓練の在り方について学びました。



総務省消防庁に視察

民生委員会

かみむら 上村委員長・さかい 坂井副委員長・くぼ 久保委員・やまもと 山本委員・たなか 田中委員・はしだ 林田委員・いわはら 岩原委員・なかた 中田委員

■ テーマ ケアラー支援について

■ 調査項目選定のポイント

既にケアラー支援条例を制定している市町に、条例の制定を目指し、ケアラー支援の方法や実際の取り組みを調査しました。

■ 視察先

栗山町・恵庭市・入間市

■ 視察報告

栗山町では、条例制定の原動力となった実態調査で判明した課題を町全体で解決する仕組みの構築、恵庭市では、ケアラー経験者の体験談や市長などが出演する10本以上の啓発動画による広報、入間市では、レスパイト支援にも市費を投じるなど、各自治体において、さまざまな手法を用いた解決策によりケアラー支援の取り組みの実施や支援策の手段について学びました。



入間市に視察

文教企業委員会

ふじもと 藤本委員長・さえき 佐伯副委員長・ひがき 檜垣委員・やまがみ 山上委員・なかはら 中原委員・よこち 横地委員・おきた 沖田委員・ふくなが 福永委員

■ テーマ 持続的で魅力ある教育について

■ 調査項目選定のポイント

変化が激しい社会の中で、今後の呉市の学校教育を将来にわたり持続的に発展させ、子どもたちのシビックプライド醸成につなげることを目指します。

■ 視察先

さいたま市・三鷹市・浜松市

■ 視察報告

さいたま市では、社会をリードする人材の育成や複雑化する現代社会の中で主体的に行動する力を育むさいたまSTEAM教育と金融経済教育について、三鷹市では、小中一貫教育と連動しながら地域とともに子どもの成長を見守るコミュニティ・スクールについて、浜松市では、全ての子どもを対象に健やかな発達を支援する発達支援教育について学びました。



浜松市に視察

産業建設委員会

みつむね 光宗委員長・かめい 亀井副委員長・いんきよ 院去委員・かたおか 片岡委員・わたなべ 渡辺委員・いではた 井手畑委員・はしぐち 橋口委員・おだ 小田委員

■ テーマ 産業の労働力確保について

■ 調査項目選定のポイント

地元での雇用機会の創出、若者が魅力を感じる職場環境の整備などの課題を抱える本市の実情に即した人材確保策について調査しました。

■ 視察先

薩摩川内市・熊本市・北九州市

■ 視察報告

薩摩川内市では、都市部への流出による人口減少や中小企業の人材不足に対する組織横断的な取り組みである産業人材確保・移住定住戦略実行計画について、熊本市では、人材確保・育成、企業誘致に伴う地域経済への影響など企業誘致に向けた取り組みについて、北九州市では、外国人材の受け入れ・雇用支援など外国人労働者受け入れに関する取り組みについて学びました。



熊本市に視察



宮原小学校

なかはら ゆづき
6年生 中原 結月 さん

“太鼓でみんなが笑顔になる呉に”

■私の夢は、呉市伝統の音戸清盛太鼓を受け継ぐことです。

今、私は音戸清盛太鼓を習っていますが、どんなたたき方をし
て、どんな表情をしたら、お客さんが楽しんでくれるかなと考え
ながら練習しています。

また、本番では、お客さんが楽しそうに太鼓のリズムに合わせ
て手をたたいてくれているのを見るととてもうれしくなります。

だから、私が呉市伝統の音戸清盛太鼓を受け継ぎ、もっと多く
の人に知ってもらえるようないろいろな場所で演奏したいです。

そして、この音戸清盛太鼓で呉市が活気に満ち、笑顔いっぱい
の場所にしたいです。

9月定例会の予定

※変更になる場合があります

月	火	水	木	金
8/24 総務委員会	25 民生委員会	26 文教企業委員会	27 産業建設委員会	28 特別委員会
31 告示日	9/1	2	3	4
7 本会議	8 本会議	9 本会議	10 本会議	11 総務委員会
14 民生委員会	15 文教企業委員会	16 産業建設委員会	17 特別委員会	18 本会議
21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 決算特別委員会	25 決算特別委員会
28 決算特別委員会	29 決算特別委員会	30 決算特別委員会	10/1 本会議	2 予備日

本会議や委員会の傍聴が
できます！



受付は、議会棟4階にて！
会議は通常、10時に開会します。

録画した本会議を
YouTubeで配信しています！



呉市議会
YouTubeチャンネル



呉市議会

インターネットで
ライブ中継・録画配信中！



呉市議会
インターネット中継



呉市の公式LINEで
チーム議会の発行をお知らせ！



呉市公式LINEは
こちらから



編集後記

中核市議会議長会第21回議会報コンクールで、呉市議
会だより第35号（令和7年11月10日発行）が優秀賞
を受賞し、令和5年度から4年連続の受賞となりました。

私は、広報委員として8年目を迎え、これまで編集作業に
携わった立場からも連続受賞に大変喜びを感じています。

今後も、市民の皆様と呉市議会を身近に感じていただ
けるよう取り組んでいきます。

みつむね ひとし
広報委員 光宗 等

議会図書室兼市政資料室

当室は、平成28年2月に議員の調査研究
のため、そして、市の統計書などの資料を所
蔵するために開室しました。

また、議員だけでなく、市職員の業務に関
わる情報収集に活用するため、平成28年4
月からは常駐の司書（会計年度任用職員）を
配置しています。

さらに、公立図書館や大学図書館との連携
により、レファレンスサービス*の向上を図っ
ています。

一般市民の利用は、図書の閲覧や簡単なレ
ファレンスサービスに限定していますが、ぜ
ひご利用ください。

利用時間：市役所開庁日の午前9時から
午後5時まで

※図書館司書が利用者の調べ物や情報探しを手伝うサービス



防災訓練の実施

出水期に備え、6月12日に、全議員参加の
防災訓練を実施しました。

訓練では、議員へ安否確認メールを送信し、
議員の安否の確認とあわせ、周辺の災害状況
などの情報収集を行いました。

